

【知的障がい】
(オホーツク圏)

オホーツク管内

北海道北見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒090-0807 北見市川東229番1
- 問 合 せ 先 TEL 0157-61-0047・61-0071
FAX 0157-61-0047
E-mail kitamishien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.kitamishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育を目指す」
☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力

□ 概 要

本校は平成21年に前身の「北海道紋別養護学校きたみ学園分校」から、北海道北見支援学校となりました。知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、小学部から高等部まで109名の児童生徒が在籍し、そのうち高等部には現在45名の生徒が在籍しています。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に、体力づくりや進路学習、交流及び共同学習などの学習に取り組み、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力、協力する力、はたらく力、とりくむ力」を養う教育を行っています。



■特色ある教育活動

高等部の重点教育目標

- 「青年期における心と身体の調和を保つ生徒を育てる。」
- 「地域の中で共に生きていける生徒を育てる。」
- 「自ら学び、働く意欲のある生徒を育てる。」
- 「生活を通して生きがいや楽しみを感じる生徒を育てる。」

【 総合的な探究の時間 】

進路学習、近隣高校との交流及び共同学習、外国語指導助手（ALT）との学習、学校周辺の清掃活動に取り組んでいます。

進路学習の主な活動内容は、進路先見学、学んだ内容をグループごとに壁新聞にまとめて学び合う壁新聞交流、進路面談、ようこそ先輩、進路先合同説明会、現場実習、現場実習報告会等です。進路希望調査を踏まえ、希望に応じてグループを編制し、3年間で、生徒が自分の進路について繰り返し探究し、進路決定ができるよう学習に取り組んでいます。

【 特別活動 】

高等部委員会では、新入生歓迎会やサマーフェスタなどの企画・準備・運営等を生徒自身が行い、仲間と協力しながら主体的に活動に取り組んでいます。また、リーダー選挙では、選挙の内容や方法を学習しながら、高等部リーダーや副リーダーを選出しています。

【 道徳 】

全校集会（現在はコロナ禍のため学部集会）「みんなの広場」で道徳目標を確認し、学級でも再確認しながら、学校生活全体を通して、具体的な学習活動を行います。生徒が自分自身の行動を振り返ったり、友達の行動を評価したりする学習に取り組んでいます。



美術：版画



総合的な探究の時間：ボランティア清掃



体育：徒競走



作業学習：オリエンテーション
(クラフト班)



生活単元学習：新入生歓迎会準備



訪問教育：始まりの会

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級・重複学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育 (体力づくり)		道徳	体育 (体力づくり)	自立活動
	国語/数学			国語/数学	
3	美術	生活単元学習	作業学習	作業学習	体育
4				作業学習	
5	LHR	作業学習	生活単元学習	音楽	日生
6	日生			日生	
7	日常生活の指導				

* 登校時間 8:45 (月~金)

* 下校時間 14:10 (月・木) / 15:00 (火・水) / 13:20 (金)

■教育課程の特徴

生徒の実態に合わせ、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習を中心に、体育、音楽、美術などの教科の学習や道徳、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間を適切に配置し、関連付けながら、教育課程を編成しています。卒業後に社会自立・社会参加する上で必要とされる力が育まれるよう教育活動を展開しています。

□ 作業学習

働くこと・作ること・育てることを喜び、主体的に取り組む態度を育てることを目標とし、「木工」「縫工」「グローバルワーク」「クラフト」「手工芸」「リサイクル(新設)」の作業に取り組みます。

□ 国語、数学、自立活動

国語と数学では、学年・学級を超えて学習グループを編成し、実態に応じた学習を行っています。

自立活動では、自立と社会参加を目指し、生徒一人一人の障がいの状態や発達の段階、特性等を踏まえた学習課題を設定しています。

■卒業後の主な進路先について(令和2年度実績)

□ 福祉的就労~7名【就労移行支援1名、就労継続支援B型3名、生活介護3名】

学校QRコード



オホーツク管内

北海道紋別養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒094-0021 紋別市大山町3丁目14番地
- 問 合 せ 先 TEL 0158-23-9275
FAX 0158-23-9275
E-mail monyo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる

【 育てたい資質・能力 】

- ・身の回りのことや自分の役割に取り組む (生活習慣)
- ・興味関心を広げ、自ら学習する (基礎学力)
- ・心身ともにたくましく健康な身体づくりに励む (運動習慣)
- ・自分や相手のよさに気付き、集団で活動する (自己表現・自己理解)

□ 校 訓

「明朗」「協調」「強健」「勤労」

□ 概 要

本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を積極的に活用した体験活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活習慣」「基礎学力」「運動習慣」「自己表現・自己理解」に関わる資質・能力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、「身辺処理」「人とのかかわり」「集団生活での役割」を柱に、基本的な生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。



■特色ある教育活動

<高等部の学部目標>

『地域社会の中で、自ら考えて充実した生活を送ることができる力を養う』

- (1) 日常生活における望ましい生活習慣の形成を図るとともに、生活に見通しをもち、主体的に活動する力を養う。 <生活習慣>
- (2) 社会生活を営む上で必要な知識、技能、態度を身に付け、現在及び将来の生活が自立的で豊かにする力を養う。 <基礎学力>
- (3) 適切な運動経験を通して、運動の習慣化を図るとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ資質や能力を育む。 <運動習慣>
- (4) 自己の適正や課題を知り、集団の中で協力しながら活動を遂行する力を養う。 <自己表現・自己理解>

【 少人数のよさを生かしたきめ細やかな教育 】

個別の指導計画に基づき、生徒の実態や学習内容に応じて少人数の学習集団を編制し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行います。

【 地域の教育資源を活用した学習 】

地域や地元企業と連携し、委託された製品を作成する作業活動を通して、将来の社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度を身に付けます。

【 文化芸術活動の充実 】

音楽や芸術の鑑賞活動などを通して、生徒の興味・関心や経験の幅を広げ、将来の有意義な余暇活動の充実につなげます。

【 寄宿舎と連携した学習 】

学校生活と寄宿舎生活を通して、基本的な生活習慣や社会性、健康で安全に生活する力の育成を目指しています。生徒の実態に応じて、学校と寄宿舎が課題を共有した日常生活の指導や自立活動に取り組んでいます。



生活単元学習：調理学習



作業学習：環境整備



総合的な探究の時間：
外国語指導助手との交流



保健体育：器械運動



美術：版画作品の製作



現場実習：商品の棚入れ

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	保健体育（体力づくり）／自立活動				
3	日常生活の指導				
4	国語／数学				
5	作業 学習	生単	作業 学習	生単／ 美術	作業 学習
6					
7	生単	音楽	SHR	保健 体育	SHR
8	SHR		SHR		

※「総合的な探究の時間」は特定の期間に行う。
「道徳教育」は教育活動全体を通して行う。

※ 登校時間 8：40（月～金）

※ 下校時間 15：05（月・火・木）
14：10（水・金）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心的な学習に位置付け、生活に結び付く内容を学ぶ国語、数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、特別活動によって教育課程を編成しています。また、生徒一人一人のよさや課題を踏まえた自立活動の指導を行います。道徳教育については、自立心や自律性、他者を思いやる心が育まれるよう、教育活動全体を通して指導します。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい家庭生活や社会生活、人間関係の形成、集団参加に必要な知識や技能、社会性を身に付けられるよう指導しています。また、生徒の興味・関心や生活の文脈を踏まえ、生活につながる力を育てています。

□ 作業学習

紙工や染物、環境整備などの作業活動を通して、社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度を身に付けられるよう指導しています。

□ 総合的な探究の時間

人と関わり合う力、目的意識をもって学習に取り組む力、自ら課題に気づき主体的に取り組む力、自ら考えて発表したりまとめたりする力を高め、生徒が将来、生きがいのある生活を実現できるよう、指導しています。

□ 現場実習

生徒の実態に応じて、卒後の生活や作業体験を行い、自己決定の選択肢を広げています。

- ・第1学年：校内実習
- ・第2学年：紋別市内の事業所
- ・第3学年：卒業後利用予定の福祉サービス

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 福祉的就労～4名【生活介護、就労継続支援B型】

学校QRコード



オホーツク管内

北海道紋別養護学校ひまわり学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住所 〒099-0622 紋別郡遠軽町生田原安国302番地2
- 問合せ先 TEL 0158-46-2171
FAX 0158-46-2171
E-mail monbetsuyougohimawari-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monbetsuyougohimawari.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる」
- 校訓
「明朗 強調 強健 勤労」



- 概要
本校は障がい児入所施設「ひまわり学園」に入所している学齢児の就学を保障する目的で昭和54年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。
高等部は平成12年に設置されました。生徒の様々な障がいの特性に応じて教育課程を編成し、高等部における学習の充実（現在）と卒業後の生活の充実（将来）を目指し、教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 身辺自立の向上を図るとともに、集団の中で自分の役割に取り組む生徒 【生活習慣】
- これまで培ってきた知識を深め、主体的に学習する生徒 【基礎学力】
- 明るく健康に生活できる身体づくりに努める生徒 【運動習慣】
- 自分や友達の良さを見つけ、互いに助け合う生徒 【自己表現・自己理解】

【 生徒一人一人の課題に応じた学習 】

国語では、書くことや読むことに関わる学習など、数学では、数・形の学習や簡単な計算、お金を使った学習など、生徒の課題に合わせた学習を毎日行っています。また、生徒が自分の力で課題に取り組むことをねらいとした自立課題に取り組んでいます。

【 自立・社会参加を意識し、体力の向上及び社会的スキルの拡大を意識した取組 】

体力の向上や社会性の育成を目指し、火から金曜日の1時間目に自立活動を位置付け、健康の保持をテーマにストレッチ、ランニング、アスレチックサーキットなどを行っています。
その他の自立活動の授業では、個別の目標や生徒それぞれの課題に応じて、ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイなどの活動に取り組んでいます。

【 交流及び共同学習等、地域資源を生かした体験的な学習の充実 】

卒業後の生活を見据え、地域社会や人との関わりを広げるために、地域の成人施設利用者との交流や高校生との交流及び共同学習を行っています。
また、地域の公共施設の利用や福祉事業所の体験利用、地域の清掃活動や花を植えたプランターを駅に設置するなどの環境美化活動など、地域資源を有効に活用した教育活動を行っています。



自立活動



現場実習：箸の袋詰め



作業学習：畑の管理



国語・数学



児童生徒会役員選挙



保健体育：歩くスキー

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導				
1	自立活動				
2	国語・数学				
3	作業学習	作業学習	生活単元学習	HR活動	音楽
4					保健体育
5	保健体育	自立活動		作業学習	生活単元学習
6		音楽			

※1ヶ月の最初の週の月曜1時間目は「全校朝会」、最後の週の月曜1時間目は「児童生徒会活動」を行います。

□ 作業学習

生徒一人一人の実態や進路希望等を考慮して、個々の力が発揮できる学習に取り組んでいます。

- ・普通学級：継続して働く力の育成を目指しています。

主な学習内容…校内の清掃、紙工など

- ・重複学級：道具の扱い方や手順を覚え、一人で取り組む力を培っています。

主な学習内容…校内の清掃、農耕など

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 14:05 (月) / 15:00 (火・木・金) / 13:15 (水)

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を学習の中心に据え、生徒の教育的ニーズに基づいた自立活動の指導を適切に関連付けて、教育課程を編成しています。また、社会生活を送る上で必要な内容を学ぶ国語や数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、特別活動の学習を行っています。道徳については、他の学習と関連付けながら教育活動全体を通して行っています。

□ 生活単元学習

現在の生活や将来の生活を題材に、生活に必要な知識や技能を習得することを目指しています。主に校外学習や宿泊研修、見学旅行等の事前・事後学習のほか、職業と家庭的な内容(情報、調理)、社会科的な内容(選挙制度等)、理科的な内容(各種実験等)などを学習しています。

■卒業後の主な進路先について(令和2年度実績)

- 福祉的就労～6名【就労継続支援B型2名、生活介護1名、その他3名】

学校QRコード



オホーツク管内

北海道紋別高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-5172 紋別市渚滑町元新1丁目152番地1号
- 問 合 せ 先 TEL 0158-24-1120
FAX 0158-24-1121
E-mail monbetsukoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monbetsukoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく
そして しなやかに生きる人間を育成する」
- 校 訓
「明朗・誠実・全力」
- 概 要



本校は平成9年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会生活を送る中で職業自立・社会自立を図ることを目指した教育を行っています。管内の農林水産系の企業や高齢者福祉施設等、地域資源を活用しながら、積極的に現場実習や交流学習などの学習活動を取り入れています。寄宿舎では、基本的生活習慣や集団生活におけるルールやマナーの定着を図っています。

■特色ある教育活動

学校教育目標
「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく そして しなやかに生きる人間を育成する」

- 【 職業学科と普通科について 】
職業学科では、所属する学科での作業学習を中心に学び、将来の職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。
普通科では、国語や数学などの各教科の学習内容を発展的に学び、将来の家庭生活や社会生活、職業生活に必要な基礎的・基本的な能力を高めます。
- 【 園 芸 科 】
野菜や草花の栽培等を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立・社会自立に必要な基礎的・基本的な能力やしなやかに生きる力を高め、実践的な態度を育てます。
- 【 窯 業 科 】
セラミック製品の製造等を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。
- 【 木 工 科 】
木材等を主原料とする製品の製造等を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立・社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。
- 【 クリーニング科 】
洗濯や仕上げ、清掃、縫工、織物等を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、生徒同士のコミュニケーションや学び合いを通して、職業自立・社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。
- 【 家庭総合科 】
縫工・羊毛・喫茶サービス等を通して、生活に関連する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、職業に必要な能力と実践的な態度を育てます。
- 【 普通科 】
国語や数学などの各教科の学習と、仕事をする上で必要な力を身に付ける職業の学習を通して、将来の職業自立・社会自立に必要な基礎的・基本的な知識や技能を高めます。



窯業科：陶芸製品の製作



木工科：木工製品の製作



クリーニング科：アイロン作業



家庭総合科：布製品の製作



園芸科：野菜や草花の栽培



普通科：ビジネスマナーの学習

■第1学年生徒の週時程表

【 窯業科 】

	月	火	水	木	金
1	総合委員会	体力づくり	作業学習	体力づくり	体力づくり
2	理科	作業学習		自立生活	作業学習
3	保健体育			美術	
4					
5	数学	家庭	音楽	数学	LHR
6	国語	情報	外国語	国語	

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	総合委員会	体力づくり	数学	体力づくり	体力づくり
2	家庭	数学	職業	自立生活	職業
3	保健体育	外国語		理科	
4		理科		国語	数学
5	国語	国語		社会	美術
6	社会	音楽	情報		

* 登校時間 8:35 (月～金)

* 下校時間 15:35 (月～木) / 14:25 (金)

■教育課程の特徴

【 職業学科 】

作業学習を教育課程の中核に据えて、職業生活に必要な能力を高めることを目指した教育課程を編成しています。作業学習を通して、仕事を行う上で必要な知識や技能、態度及び習慣を培うことをねらいとし、所属する学科の作業を中心に3年間学習します。国語や数学などの各教科の学習も行っています。

【 普通科 】

国語や数学などの各教科の学習を教育課程の中核に据えて、幅広く学習し、社会生活に必要な能力を高めることを目指した教育課程を編成しています。また、職業の学習を通して、仕事をする上で必要な基礎的な知識や技能、態度を学びます。

□ 現場実習 (各科共通)

全ての教育活動を通して身に付けた力を発揮する場として位置付けています。自己の在り方や生き方を考える機会とし、主体的に進路選択できる力を育成します。

現場実習期間：第1学年1週間 (年2回)

第2学年2週間 (年2回)

第3学年5週間 (年1回)

□ 各教科の学習

各教科の学習を通して、卒業後の生活に必要な力を習得するため、実生活に即した内容を中心に学習します。

■卒業後の主な進路先について (令和2年度実績)

□ 就職 (就労継続支援Aを含む) ~ 20名

【製造業6名、飲食業6名、小売業4名、クリーニング業2名、清掃業2名】

□ 福祉的就労 ~ 5名【就労移行支援4名、就労継続支援B型1名】

学校QRコード

